



はくい (HAKUI)

羽咋市議会では、市民の皆さんへ議会の結果や市議会議員の活動を伝えることを目的として「市議会だより」を発行しています。市議会議員は市民の皆さんの代表であり、市民の声を市政に反映させることが仕事です。何でもご相談ください。

平成31年 1月号(2019)

市議会だより

No.80

発行者／石川県羽咋市議会
編集者／市議会だより編集委員会
住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地
TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210
<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

- 一般質問…………… 2
- 各委員会報告…………… 6
- 採決結果…………… 8



冬の風物詩（邑知潟の寒ブナ漁）

平成30年第4回定例会の概要

平成30年第4回羽咋市議会定例会が12月3日から12月19日までの17日間開催された。提出された議案は、平成30年度羽咋市一般会計補正予算など議案10件、報告5件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、冒頭で平成31年度予算編成方針の概要を説明した。具体的には、農業の6次産業化や商社機能の充実、人口減少社会の対応としてコンパクトなまちづくり、近年多発する豪雨などの対応したインフラ面の整備、防災体制や災害対応の充実など。

その他課題や諸報告として羽咋駅周辺整備、工場用地の取得、小中学校の冷暖房設備の整備、今

年度の道路の除雪対策等について述べた。

12月12日の質問日では8人の議員が質問に立ち、子育て支援、人口減少、羽咋駅周辺整備、災害時対策、配食サービスなどについて質問した。

最終日の採決では、平成30年度羽咋市一般会計補正予算等市長提出議案10件、報告1件、認定7件を原案のとおり、可決、承認、認定し、請願2件を不採択とするとともに追加された市長提出人事案件3件を同意および適任とした。また櫻井英一議長の辞職に伴い、稲村信成議員が議長に選出された。

第43代議長 就任挨拶

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。日頃より羽咋市議会に温かいご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、栄誉ある第43代羽咋市議会議長を拝命し、身に余る光栄であると共にその重責に身の引き締まる思いであります。これからの我が国は、人口減少・超高齢社会を見据え、活力ある地方を再生する必要があります。その為には、議会の果たすべき責務と役割を明確にし、市民に開かれ信頼される議会への課題解決に取り組みます。

議会で審議された事業と予算が、速やかにかつ的確に施行・執行されているかを検分するのも議会の仕事です。市民の視点に立ち、市民の負託に的確に応えていく事を決意し、今後も不断の議会改革を推し進めてまいります。その為にも、羽咋市議会として議員全員の力を結集し、豊かな羽咋市の実現を目指して参ります。

結びに、市民の皆様のご健勝と御多幸を心より御祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



稲村 信成 議長



酒井 一人 議員

共に考え共に創ろう 住みよい未来の羽咋の姿



見守りに不安がある余喜保育所の滑り台

子育て支援のあるべき姿について

【質問】 ①平成31年2月に羽咋すこやかセンター内に設置する「子育て世代包括支援センター」の具体的な支援体制と活動を説明せよ。②市内で安心して分娩できる病院が無い状況をどう考えるか。

【答弁】 ①母子保健に関する専門知識を有する保健師1名をコーディネータとして配置し、医療機関や保健所、保育所などの専門家で構成する定期的な会議で支援方針等を検討し連携強化する。具体的には、ひとり一人に担当保健師が寄り添い、個別の不安に対応した丁寧な保健指導、支援プラン作成を通じ、親になる力を育てる支援を行う。②産科医の確保が難しく、分娩件数減少で市内での分娩施設の整備は困難である。今後、市長会など連携した団体の中で要望したい。

まちづくりにドローン活用策を共に考えよう

【質問】 少子高齢化と人口減少の中、働き手の確保が困難な時代が来ている。そこで、ドローン活用を課題として掲げ、各課の垣根を越え住民目線で未来の羽咋の姿を、共に考え共に検討してはどうか。

【答弁】 ドローンは防災・農業・インフラ点検・観光・物流など幅広い分野で活用が進み、国も成長戦略に掲げ、実証事業を行う自治体へ特区制度の活用や支援を推進している。全国の実証事例を参考に活用策を検討する。

その他の質問

- ①平成31年度の予算編成方針
- ②保育所の施設管理状況
- ③河川構造物の安全対策



大塚 幸男 議員

積極果敢な挑戦と実践で 浮上せよ



市民の期待が大きい駅西整備

自然動態と社会動態の動向と今後

【質問】 昨年度の人口減少は著しいが、減少傾向に一気に拍車がかかってきたのか、他に要因があるのか。本市への移住者が増加傾向にあるが、その内自然栽培に魅力を感じて移住してきた就農者の自立状況と市のサポート態勢の現状は。

消滅可能性都市にならないように。豊島区では「としま100人女子会」が開催された。女性が暮らしたくなるまちとは何なのか、女性の真の声を聴き、素早く、確実に実行すべき、その対応は。

【答弁】 急激な人口減少の要因は見当たらない。自然栽培に魅力を感じて移住した方は過去3ヶ年で13世帯28人、内2世帯が離農している。

県支援機構の5ヶ年所得支援への上乗せや自然栽培補助を行っている。より多くの女性の意見を聴き、早期に事業に反映させたい。

交通の玄関口整備と活性化

【質問】 旧マルシェ跡地の取得は千載一遇のチャンス、駅西周辺整備が現実味を帯びてきた。来年4月から基本計画に着手するが、道路や河川整備は以前に線形が示されており、最優先で着手せよ。

ゆ華や道の駅だけでは魅力ある玄関口とは言えない。国道415号沿線の民間資本導入を図れ。

【答弁】 事業手法や沿道の利活用を含めた検討が必要であり、一体的に取り組みたい。インター周辺のにぎわい創出のため民間資本導入は不可欠であり、誘致活動に努めたい。

その他の質問

ちびっこ駅伝への支援強化とマラソン大会の誘致



浜名 等 議員

羽咋駅周辺整備には 更なるスピード感が必要



冷房設備の設置を待つ小学校

基本方針の具体的な整備内容を示せ

【質問】 市長は提案理由説明の中で、羽咋駅周辺整備について、3点の基本方針を説明している。提案理由の説明だけでは、整備方針の内容が市民にはわかりにくいので、具体的な整備内容を聞く。

【答弁】 羽咋駅周辺整備の基本方針の1点目は、安全安心な地域づくりのために、長者川の河川改修や旧マルシェ跡地を中心とした災害時の一時避難所及び防災活動拠点となるスペースの確保等。2点目は、子育て世代を中心として幼児から高齢者までが楽しく利用できる子育て支援や交流ができる場所、多様な教育や学習機会機能等を備えた施設を想定。3点目は、公共サービス機能や商業機能など、将来に対応した町なかの暮らしを支える機能や公共交通等の連携を対象として考えている。

全小中学校に設置する冷房設備内容は

【質問】 市では、国の冷房設備対応臨時交付金制度を活用し、実施設計を発注している。整備にかかる予算は全体でどれくらいか。また、年間のランニングコストの低減化は図られているのか。

【答弁】 整備予算については、普通教室56室とランニングコスト5室を合わせた工事費として、1億4,500万円程度を見込んでいる。また、ランニングコストの低減化については、電気の使用を標準化し、基本料金を抑制することが可能なデマンド管理システムを導入し、ランニングコストの縮減を図っていく。

その他の質問

- ①空き家対策
- ②羽咋まつり



稲村 信成 議員

市長3期目の政策の現状と 今後の課題を問う



市役所屋上から市内一望

政策の進捗状況は

【質問】 若い人の結婚、子育て支援への総合政策・子ども医療費の窓口無料化・第2子保育料段階的な無料化・雇用の創出・住まいづくりの推進政策等について問う

【答弁】 今年の婚活イベントで2組のカップルが成立。今年度は2つのイベントを計画。来年2月に総合的相談及び支援を提供する子育て世代包括支援センターを開設。また、今年度より保育料の無料化に取り組む。子ども医療費の窓口無料化は平成28年11月から実施。雇用創出への企業誘致のために工場用地取得。また、住宅取得支援として、市による宅地分譲も行う。

【質問】 高齢者が家族と安心して暮らせるまちづくりへ、医師会・福祉施設・町会との連携による地域包括ケアシステムの推進。新型助成金制度の創設を行う政策等について問う。

【答弁】 地域包括ケアシステムの推進及び協働のまちづくりは、住民主体による介護予防や生活支援を推進する。公民館単位の懇談会を開催し、地域の実情に即した助け合いの仕組みを作る。一ノ宮地区において市内第1号となる生活支援協議体が発足された。平成29年度に市民参画による活力のあるまちづくりを推進するため羽咋市市民提案型まちづくり支援事業を創設し、平成29年度は11件、平成30年度は6件、合わせて17件の事業が採択された。



浅野 俊二 議員

はくい市観光協会の 使途不明金を解明せよ



道の駅イルミネーション

道の駅の活性化をはかれ

【質問】 ①イルミネーションの完成時期、さらに規模拡大と企業の宣伝公募をはかれ②定休日をなくし営業時間の延長③勤務形態を見直し労働時間の延長を④魚販売の評判が良い。炉端焼やカキ貝の提供を⑤道の駅の成否は冬場対策だ。閉店後の軒下を開放し、焼き鳥、ラーメン、おでん等の屋台を。

【答弁】 ①12月中旬までに完成。設置はホテルゆ華の植え込みと併せて3月まで。企業公募と規模の拡大を検討する。②若手シェフを育成し営業の拡大を図る。③販売日の拡大と地域の巡回を検討する。④食品衛生法で屋外で調理できない。⑤保安対策。周辺の影響を考え慎重に検討する。

市長は観光協会に対し監査の請求をせよ

【質問】 観光協会総会で、170万円の使途不明金が指摘され、その数か月後に70万円と100万円が別々に返納されたと聞くと、市の補助金200万円、県の補助金170万円。適正に処理なされていれば、なぜ70万円（前事務担当）と100万円を返納したのか大変疑問だ。

南アルプス市で同様な問題が起き、市長が地方自治法199条6項で監査請求し関係者を聴取し非を認め返済させ解雇した。市長はなぜ監査請求をしないのか。

【答弁】 市監査委員による定期監査が行われ、観光協会への補助金を含んだ業務の監査はおおむね適正に処理されたとの回答を得た。使途不明金の内容については、はくい市観光協会の会計処理のことであり、本市は承知していない。



岸 博一 議員

人口が2万人を割る予測 はいつか



旧マルシェ跡地

旧マルシェ跡地利用の説明時期は

【質問】 基本構想については、地元町会の説明会でとりまとめは12月に行うとのことであったが、基本構想の説明はいつごろになるのか。また、市が旧マルシェ跡地を取得することが決まれば周辺土地が投機的に取得される可能性がある。基本構想の障害にならないよう、周辺土地の利用や開発に制限を設けるべきではないか。

【答弁】 現在、基本構想素案策定の作業を進めているところであり、12月中に素案の策定を予定している。来年1月からは基本構想素案を公表し、議会を初め市民や商業者の方々から幅広く意見を伺いながらとりまとめていきたい。旧マルシェ跡地周辺の土地について、現時点で規制を設けるのは難しい。今後基本構想の障害にならないよう、必要な土地の取得を検討したい。

人口減少と財政状況は

【質問】 石川県が発表した平成30年11月の本市の推計人口は、20,809人となっている。近年1年間で350人減少している。この状況でいけば、2万人を割るのはいつごろとされるのか。また、人口減少に伴い、経常収支比率はどのように推移していくのか。

【答弁】 これまでの人口推移の状況から人口が2万人を割り込む時期は、2021年後半を予測している。経常収支比率の見込みについては、平成30年度から3年間は、93%から95%で推移すると試算している。

その他の質問

- ①ふるさと納税の使途
- ②公共施設の長寿命化計画



新田 義昭 議員

市民に夢をあたえる政策を



邑知中学校周辺工事中

邑知中学校の通学路の安全確保

【質問】 邑知中学校周辺に、大型事業が始まっている。現在は、送電線の鉄塔移転工事や、県水送水管工事が進行中である。国道159号羽咋道路や県道若部・千里浜線の工事が始まる。通学路の更なる安全が求められる。市長の考えを問う

【答弁】 中学校周辺では、4つの大型事業が進んでいる。国土交通省が行う国道159号羽咋道路については、本江地内で工事。石川県が行う都市計画道路的場・飯山線の工事が進む。市として、各事業者迂回路の設定や工事車両の通行時の配慮を行うなど、安全確保に努める。

羽咋駅周辺（マルシェ）整備構想を問う

【質問】 私案として、旧マルシェ跡地は、J A羽咋支店や郵便局が近くにある。羽咋駅に近い利点をいかし、①長者川の改修②小さな図書館③観光

案内所④障害者ビジネススクール⑤ハローワークの移転等のコンパクトな複合施設を。周辺に防災公園や軽食堂を合わせて道路整備を。市長の考えを問う。

【答弁】 駅周辺整備構想を、よりよいものにするためには、多くの方々から多様な御意見をいただくことが必要である。町なかのにぎわいを創出するには、子育て世代を中心に、多世代、多様な人たちが集える場をつくり出すことが大切である。基本構想や基本設計を策定する中で参考にする。

その他の質問

- ①市内小中学校の楽器の充実
- ②邑知中学校の施設・設備
- ③市民の安全安心と災害時の対応策



北川 真知子 議員

災害や大雪への備えを



余喜公民館

余喜公民館は避難場所として適切なのか

【質問】 8月31日の豪雨では、避難所である余喜公民館にも水が流れてきた。地元からは、「道路が水びたしで公民館に行かない」「公民館は2階がないので避難所に適さない」などの声が聞かれた。避難場所として、余喜公民館は適切なのか。

【答弁】 現在、余喜地区の避難所は、余喜公民館、余喜保育所、余喜小学校、余喜スポーツセンターの4ヶ所を指定している。災害の種別、発生時刻、今後の気象情報などを踏まえ避難所を選定。今年度の豪雨と台風では、長時間の避難や翌日まで過ごすことを想定し、避難者に負担が少ない和室のある公民館を主に開設した。また、余喜地区の冠水対策事業に、引き続き取り組む。

除雪計画の変更点は

【質問】 今年の大雪では、生活道路の至るところで車が立ち往生し、市民生活に少なからず影響がでた。市は今年度、除雪体制の見直しを行うが、変更点を聞く。

【答弁】 国道や県道に準じる主要幹線道路の第1種路線については、除雪開始基準を15cmから10cmに変更するとともに、一般の市道についても降雪予報を参考にしながら柔軟に初動対応を行う。また、新たに今年度より除雪協力業者5社を追加した。各町会から事前に要望を聞いて、除雪路線の見直しを行う。

その他の質問

- ①配食サービス
- ②国保の子どもの「均等割」
- ③介護保険

予算常任委員会報告

◎新田 義昭 ○酒井 一人 岸 博一 浜名 等
北川真知子 寺井 哲也 櫻井 英一 稲村 信成
大塚 幸男 塩谷 久司 中村 孝清 山本 泰夫
浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第49号「平成30年度羽咋市一般会計補正予算第5号」など、議案5件、報告1件。

12月12日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案5件、報告1件については、いずれも全会一致で原案のとおり可決・承認した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 都市公園の危険な遊具を撤去するとのことであるが、新たな遊具の設置はどのようになっているのか。

【答弁】 新たな遊具の整備については現在検討中であり、新年度予算で対応する予定である。

【質問】 8月豪雨災害による農地および農業用施設の復旧工事は、沢山あると思うが、現在の進捗状況はどのようなになっているのか。

【答弁】 全部で77ヶ所あり、そのうち10ヶ所が大規模災害で、先般災害査定を受けて、今後順次工事の発注をしていく予定である。残りは、6割から7割程度で対応している。農地については、春の農耕時期に間に合うように対応したい。

その他として、小中学校のエアコンの設置について、駅東宅地分譲について、イノシシの捕獲頭数について、タカによる羽咋神社周辺のカラス追い払い業務についての質疑・答弁がされた。

総務民生常任委員会報告

◎中村 孝清 ○岸 博一 北川真知子 稲村 信成
塩谷 久司 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第54号「一般職の職員給与に関する条例等の一部改正について」など、議案3件、請願2件。

12月13日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案1件は、賛成多数で可決、残りの議案2件は全会一致で原案のとおり可決した。

請願第6号『国に対し「消費税増税中止を、求める意見書」の提出を求める請願』及び請願第7号『日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願』については、いずれも賛成少数により不採択とした。

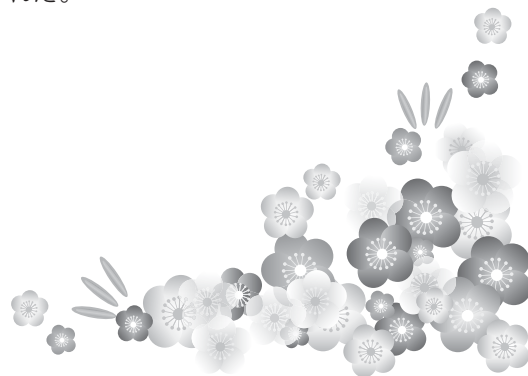
審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 羽咋市立千里浜児童センターの指定管理について、指定管理料はこれまで年間530万円であったが、債務負担行為には、年間600万円となっている。金額はどうなるのか。また、羽咋白百合学院に決定した要因は何か。

【答弁】 2者から応募があった。今回の羽咋白百合学院は、白百合幼稚園のほか、千里浜保育所、学童保育等を運営している。それらと連携しながら運営できる。また、児童センターの運営では、乳幼児及び保護者の対応や土曜日の午前中の開館等の提案もあった。

管理料については、現在、検討中だが、消費税増税や人件費の高騰等の理由で、上限を年間600万円とした。

その他として、損害賠償額における示談金の考え方について、民生委員児童委員の活動費についての質疑・答弁がされた。



産業文教常任委員会報告

◎浜名 等 ○酒井 一人 寺井 哲也 櫻井 英一
大塚 幸男 新田 義昭 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第56号「羽咋市ファミリーランド等の指定管理者の指定について」と、議案第57号「ユーフォリア千里浜の指定管理者の指定について」の議案2件。

12月14日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、付託された議案2件については、いずれも全会一致で原案のとおり可決した。

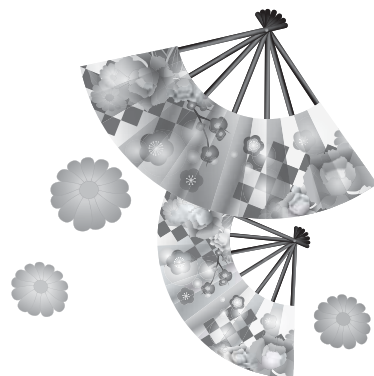
審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 羽咋市ファミリーランド等及びユーフォリア千里浜の指定管理者について、選考委員会における選考基準や選考する際のチェック項目、活動方針、事業計画。

【答弁】 選考委員会において、事業者から提出された事業計画書等の内容を厳正に審査し、客観的・中立的な立場から指定候補者を選定した。

また、損害賠償額の決定の専決処分について、大雨により市道が陥没した原因の質疑・答弁がされた。

その他として、公共施設付近の防犯灯設置や周辺整備について、自転車道路の支障木伐採について、公園遊具の整備について、市内小中学校におけるエアコンの設置状況等についての質疑・答弁がされた。



決算特別委員会報告

◎浅野 俊二 ○浜名 等 酒井 一人 岸 博一
北川真知子 新田 義昭

当委員会に付託された案件は、「平成29年度羽咋市一般会計歳入歳出決算」をはじめ、4つの特別会計の歳入歳出及び2つの企業会計決算。9月18日を1回目とし、計3回にわたり当委員会を開催した。特に、予算が適正かつ効率的、効果的に執行されたか、また、市民福祉の向上に寄与し、行政効果が十分発揮されたかを主眼に慎重に審査した。

その結果、当委員会に付託された認定7件について「認定第1号」、「認定第2号」及び「認定第4号」の3件については、賛成多数により原案のとおり認定した。「認定第3号」、「認定第5号」、「認定第6号」及び「認定第7号」の4件については、いずれも全会一致で原案のとおり認定した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 窓口の民間委託費について前年度と比較して委託料が増えているが、業務の内容が増えたのか。

【答弁】 委託業務内容は変わっていないが、今回最低賃金が上がった分だけ増額した。

【質問】 富山県氷見市との県境にある交通安全の看板について、撤去し新しいものを設置するのか。

【答弁】 氷見市と共同設置した看板は、老朽化のため氷見市から撤去の申し出があり、その撤去費用の半額を負担した。新しい看板の設置計画はない。

【質問】 下水道事業について、汚水処理の原価が特定環境保全公共下水道のみ上昇している。将来的に、この事業に対する取扱いや受益者の負担等をどのように考えているのか。

【答弁】 この先、仮に公共下水道に接続すると、新たに管渠を敷設しなければならず、多額の費用も必要となることから、処理場も含めた検討が必要である。

その他として、市観光協会補助金について質疑・答弁がされた。

平成29年度の各会計決算においては、各事業の成果も幾分か表れているが、当委員会の指摘、要望事項を十分理解し、今後も迅速かつ的確な事業展開と財政運営に努めていくことを当委員会の総評とする。

平成30年 第4回定例会 12月議会

◇平成30年度一般会計補正予算、その他議案10件、認定7件、報告1件、諮問2件の合計21件を原案のとおり可決、同意、認定、承認、適任とした。請願2件は賛成少数で不採択とした。
詳細については以下、下表のとおりである。

■全会一致で議決された議案

	議 案 名	議決結果
市長提出議案第49号	平成30年度羽咋市一般会計補正予算(第5号)	可決
市長提出議案第50号	平成30年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
市長提出議案第51号	平成30年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
市長提出議案第52号	平成30年度羽咋市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
市長提出議案第53号	平成30年度羽咋市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
市長提出議案第55号	羽咋市立千里浜児童センターの指定管理者の指定について	可決
市長提出議案第56号	羽咋市ファミリーランド等の指定管理者の指定について	可決
市長提出議案第57号	ユーフォリア千里浜の指定管理者の指定について	可決
市長提出議案第58号	羽咋市過疎地域自立促進計画の一部変更について	可決
市長提出認定第3号	平成29年度羽咋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
市長提出認定第5号	平成29年度羽咋市千里浜財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
市長提出認定第6号	平成29年度羽咋市水道事業会計決算の認定について	認定
市長提出認定第7号	平成29年度羽咋市下水道事業会計決算の認定について	認定
市長提出報告第24号	平成30年度羽咋市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について	承認
市長提出議案第59号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
市長提出諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任

■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

	議案名	酒井一人	岸博一	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	塩谷久司	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果
市長提出 議案第54号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
市長提出 認定第1号	平成29年度羽咋市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	議長は採決に 加わりません	○	○	○	○	○	○	○	認定
市長提出 認定第2号	平成29年度羽咋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	認定
市長提出 認定第4号	平成29年度羽咋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	認定
請願第6号	国に対して「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	×	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	○	不採択
請願第7号	日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	×	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	○	不採択

その他の報告

○人事案件について

今定例会で、次のとおり人事案件を承認しました。

①農業委員会委員

三宅廣之氏（鹿島路町）

②選挙管理委員会委員

塩谷 進氏（柴垣町）

（補充員）松本修一氏（旭町）

原田幸助氏（飯山町）

中村康徳氏（下曾祢町）

宮本 隆氏（千里浜町）

西 和美氏（粟生町）

林 茂氏（太田町）

大森正人氏（千路町）

③人権擁護委員

楠喜久男氏（本江町）

今井美保子氏（金丸出町）

○議会委員会での変更について

平成30年10月2日付けの石井昌志議員の辞職に伴い、次のとおり委員会に変更がありました。

①予算常任委員会 副委員長 酒井一人

②議会改革特別委員会 委員 北川真知子

コラム

県内の市及び羽咋郡内の町の議員の報酬月額、定数は次のとおりです。

区 分	議長 (円)	副議長 (円)	議員 (円)	定数 (人)
金沢市	810,000	745,000	700,000	38
小松市	620,000	550,000	520,000	22
白山市	630,000	540,000	500,000	21
加賀市	535,000	460,000	430,000	18
七尾市	537,000	428,000	401,000	18
輪島市	489,000	412,000	391,000	※17(15)
野々市市	480,000	400,000	380,000	15
能美市	450,000	390,000	370,000	18
かほく市	440,000	375,000	355,000	15
羽咋市	420,000	360,000	340,000	14
珠洲市	420,000	360,000	340,000	※14(12)
宝達志水町	337,000	285,000	275,000	12
志賀町	284,000	244,000	230,000	16

※ () は、次期選挙からの定数です。

平成30年12月現在

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対する感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は3月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

議会会議録検索システムを導入しました

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。すべての会議録を検索できます。

会議録をデータベース化することにより、平成22年からの質問状況等を素早く、簡単に検索することが可能になりました。

編集後記

この度、市議会だより編集委員会の委員長に選ばれました。委員会では、「市議会だより」を読まれる市民が少ないとの意見が出ています。どのようにして、市民の方々に読んでいただけるか、紙面のカラー化やレイアウトの変更など色々と意見を出しあっています。「市議会だより」は、市民の方々に議会の活動や、透明化などの説明責任を果たすために発行しています。

今回は、コラムで議員報酬の情報を掲載しました。今後も今までの形にとらわれず、読みやすい「市議会だより」の作成に努めたいと思います。

(岸 博一)

市議会だより編集委員会

委員長 岸 博一

副委員長 酒井 一人

委員 北川真知子

櫻井 英一

新田 義昭